

## 令和4年度 第1回八潮市外部評価委員会 議事録

開催日時	令和4年11月28日(月) 午後2時30分から午後5時10分まで	開催場所	八潮市役所3階 第2応接室
出席者 (敬称略)	委員長：島根 秀行 委員：若尾 岳志 清水 努 竹本 美恵子 秋元 理香		
欠席者	—	傍聴者数	0人
審議内容及び審議結果の概要	令和4年度 第1回八潮市外部評価委員会 1. 開会 2. 市長あいさつ 3. 委員長あいさつ・委員紹介 4. 諮問 5. 資料等の確認・説明 6. 議事 (1)外部評価 ①健康増進事業【健康増進課】 ②配水管等維持管理事業【施設課】 ③防犯活動普及事業【交通防犯課】 7. その他 8. 閉会		
提供資料	資料1: 令和4年度第1回八潮市外部評価委員会次第 資料2: 令和4年度八潮市外部評価委員会日程(案) 資料3: 令和4年度第1回外部評価委員会事務事業評価シート 資料4: 令和4年度第1回外部評価委員会外部評価シート 参考資料: 外部評価シート(事務事業評価編)における評価基準		

## 【議事詳細】

### 令和4年度 第1回八潮市外部評価委員会

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 委員長あいさつ・委員紹介
4. 諮問
5. 資料等の確認・説明
6. 議事

#### (1) 外部評価

番号・事業名	①健康増進事業	担当課	健康増進課
事務事業評価 に対する主な 質問	<p><b>【委員】</b></p> <p>(1) がん検診を含め、非常にたくさんの検診を行っているようだが、何種類の検診を実施しているのか。 →がん検診は6つの疾患（胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん、前立腺がん）に対して実施しており、その他、ヘルシーチェック健診、骨粗しょう症検診、肝炎ウイルス検診、歯周疾患検診がある。また、本来であれば、特定健診は保険者が実施する健診となっているが、生活保護受給者については、保険に加入していないため、その方については、市が実施している。全部で11の検（健）診を実施している。 検診のほか、各種相談や講座を実施しており、健康相談が2種類（生活習慣病に関する特定健診後の健康相談、こころの健康相談）、講座や教室として栄養に関する講座、こころの健康講座、生活習慣病予防の講座等を実施している。</p> <p>(2) 相談について、相談窓口を設けているということか。それとも、相談会を開催しているということか。 →各種検（健）診の結果説明会とあわせて、相談会を開催し、他の医療機関で検（健）診を受けた方で相談したいという場合も受入れをしている。相談会以外に、随時の健康相談も実施しており、例えば、医療機関等で糖尿病等により食事の指導を受けたほうが良いと医師から言われた場合や、医療機関から紹介された場合等、随時の健康相談を実施している。</p> <p>(3) 3種類の講座については、年間何回程度実施しているのか。 →講座については、こころの健康講座は年2回、生活習慣病予防講座を年1回開催している。</p>		

(4) 成果指標「ヘルシーチェック健診受診者数」の目標値が350人となっているが、対象となる全体の人数は何人程度いるのか。

→ヘルシーチェック健診は20歳～40歳未満の者が対象となっており、この年代の方は多くの方が仕事をしており、職域健診で受診される方が圧倒的に多く、対象者の人数を正確に出すことができない状況である。対象の年代の市民であれば、何万人という人数になってくるが、全員が対象ということではないため、過去の実績を勘案して目標値を設定し、実施回数と受診者数で評価をしている。

(5) コロナ禍で令和2年度、令和3年度は受診者数も下がったと思うが、コロナ前の受診者数は何人程度いるのか。

→平成30年度は343人、令和元年度は293人である。年度により、多少のばらつきは生じているが、約300人前後の方に受診していただいている。

#### 【委員】

(6) 事業費について、令和3年度決算額では、物件費が53,703,805円となっているが、どのような費用が多くを占めているのか。

→多くを占めているものは、がん検診と健康診査に係る委託料である。医療機関等で検（健）診を受けていただいた場合に、委託料として、検（健）診実施に係る費用を払っている。

(7) 令和4年度予算額が、令和3年度と比較すると少し増額となっているのは、どういった要因か。

→令和3年度は、がん検診の受診者が少なかったため、がん検診の委託料を減額補正しており、令和3年度と比較すると、令和4年度が増額しているように見えてしまうが、当初予算額で比較すれば、大きく増額はしていない。

(8) ヘルシーチェック健診について、対象者も把握していない状況で、どのように意識啓発、ヘルシーチェック健診を受けましょうというPRをしているのか。

→主にヘルシーチェック健診の対象になる方というのは、家庭にいる仕事をしていない主婦層が多いのではないかと考えており、1歳半健診や3歳児健診等の子どもの集団健診を保健センターで実施しているため、その際にチラシを配布する等個別に案内をしている。その他、ホームページや広報、840メール等でお知らせをおこなっている。

(9) 「計画期間を通じた課題と対応策」について、課題に「がん検診の受診率について、国の示す50%には届かない～」と記載してあるが、成果指標「大腸がん検診受診率」で目標値を「40%」にしているが、「50%」のほうが良いのではないか。

→国が策定している「がん対策推進基本計画」において、目標値が「50%」と掲げられているが、本市の現状を踏まえると、いきなり「50%」は非常に難しいと考えている。50%を目標として認識はしているが、まずは現実的な目標として、40%としている。

(10) 成果指標「大腸がん検診受診率」の過去の実績はどのくらいか。

→平成30年度は30.4%、令和元年度は29.5%である。大腸がん検診に限らず、全体的にコロナ禍で数値は下がっている状況である。

**【委員】**

(11) 受診率向上のために、何か考えている方法はあるか。

→検診を受ける際に、1つ1つの検診をバラバラで受けると時間がかかる。例えば、乳がん検診では、乳がん検診と骨粗しょう症検診しか受けられないが、それに加え、胃がん検診、肺がん検診等を同日に受けられるようにすることで利便性を高めるような工夫を行うことはできないかと考えている。また、肺がん検診は医療機関で実施する個別検診を実施していないため、受診率向上のためには、個別検診の実施が重要であると考えている。医療機関側も受入体制を整える必要がでてくるため、医師会との調整も必要であり、すぐに実施することは難しいと思うが、検討をしていきたい。

**【委員】**

(12) 財源内訳について、令和4年度予算のみ、国庫支出金が「0」となっているが、なぜか。

→令和4年度予算については、当初予算額となっており、その時点においては、まだ補助要綱が確定していなかったため、「0」となっているが、補正予算により、国庫補助金を計上する予定である。

**【委員】**

(14) こころの健康講座（講演会）の詳細を教えてください。

→こころの健康講座は2種類実施しており、子育て中の母親を対象としたこころの健康講座と一般の方を対象としたこころの健康講座がある。子育て中の母親を対象としたこころの健康講座では、若い方を中心として、子育て中のストレス等について、ご講演いただいている。

**【委員】**

(15) 他保険者と情報が共有されていないことにより、うまくいっていない部分があるかと思うが、改善できることはあるか。

→例えば、がん検診で、市の検診を受けた方の状況は把握できるが、人間ドックを個人的に受けている方や職域健診で付随してがん検診を受けている方は市で把握することはできない。国では、データヘルス改革を進めていくということで、将来的には、保険者で実施した検（健）診の情報や自治体で実施した検（健）診の情報等が閲覧が可能となる計画が立てられている。市としては、計画に基づき、市町村がやるべきこととして、自治体中間サーバに、市の検（健）診情報を登録することとされているため、順次、対応を進めているところであり、将来的には改善されると思われる。

番号・事業名	②配水管等維持管理事業	担当課	施設課
<p>事務事業評価 に対する主な 質問</p>	<p><b>【委員】</b></p> <p>(1) 活動指標について、「漏水」に関するもののみとなっているが、洗浄をどの程度行った等の配水管洗浄についての活動指標はあるか。  →配水管の漏水調査については、市内全域を6つの区域に分け、毎年1区域を実施し、6年で全域を実施しているが、活動指標としては設定していない。  行き止まり道路では、管末がループしていないため、水が停滞しやすく、水質が良くない場合があるので、そのような箇所は、定期的に管末で水を吐くようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水が流れている箇所については、基本的に実施する必要はないということか。  →水が流れている箇所についても、管内にサビやスケール（水のミネラル）等のよごれがあるため、夜間洗管を行っている。</li> <li>・ 夜間洗管を実施している間は、その地区は上水を使えないのか。  →その地区には、夜に水を使わないように周知しており、通常水は流れている状態だが、水の使用が少ない夜間に実施している。</li> </ul> <p><b>【委員】</b></p> <p>(2) 成果指標の「有効率」について、過去の実績はどのくらいか。  →平成29年度は95.19%、平成30年度は94.55%、令和元年度は95.89%である。</p> <p>(3) 漏水調査について、漏水はどのように発見するのか。  →道路に埋設されている配水管の場合、夜間において、漏水探知機等を使用し、水の流れる音を調査し、漏水を確認している。また、日中では、いろいろな音が入ってきてしまうため、聴診器のような機器では、漏水音が確認しづらい状況となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漏水を小さいうちに発見することは技術的に可能か。  →経験や調査する人の技術や経験にも影響される部分がある。</li> </ul> <p>(4) 配水管の寿命はおおよそ何年程度か。  →資産としての法定耐用年数は40年となっているが、実際にはメーカーにもよるが、長いものだと80年から100年使用できるとうたっているものもある。以前は、ボルトとナットで管を接合していたが、現在は管が改良され、GX型という管があり、はめ込み式でロックされるものがあり、接合部分に可とう性があるため、地震等にも耐えられるような配管材を使用している。さらに、令和3年度からは、青ポリ管（高密度ポリエチレン管）という耐震管を使用し、軽量で施工性も良く、GX型より材料費も安価なものを使用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ この地区を入れ替えていくといった計画はあるのか。  →漏水防止のため、漏水多発路線や老朽化した管路をメインに管の入替を行っている。</li> </ul>		

**【委員】**

(5) 昔よく使われていたもので、石綿管があったと思うが、今はもう使われていないのか。

→令和4年3月末時点では、約4.6km残っている状況である。主に多く残っている箇所は、旧県道や大瀬古新田地区となっている。他事業と併せて、順次、入れ替えを実施していく予定である。

**【委員】**

(6) 計画期間を通じての課題と対応策の課題について、詳しく説明をお願いしたい。

→配水管から量水器（メーター）までを一次側、量水器から個人宅までを二次側というが、各家庭へ引き込むための給水管は個人所有となる。実際に漏水が起こった際には、一次側は市で修理をするが、本来は個人所有であるため、自費で老朽化した給水管の入れ替えや改善修繕をお願いしている。しかし、費用がかかってしまうため、給水管の入れ替えや改善修繕をしていただきたいが、なかなか進まない状況となっている。また、配水管の入れ替えに伴い、個人宅の給水管の分岐替えを行い、漏水防止のための改善を行っている状況である。

番号・事業名	③防犯活動普及事業	担当課	交通防犯課
<p>事務事業評価 に対する主な 質問</p>	<p><b>【委員】</b></p> <p>(1) 防犯街頭キャンペーンを活動指標として挙げられているが、こういった活動をされているのか。 →1回あたり1時間程度実施しており、関係団体にお集まりいただき、市民がたくさんいる駅周辺を中心に啓発品やチラシを配布している。</p> <p>(2) 防犯街頭キャンペーンに戸別訪問を含むと記載しているが、各ご自宅に伺い、配布物を渡しているということか。 →配布物もお渡ししているが、実際に警察官と一緒に各ご自宅に伺い、お話をさせていただく。こうした活動を繰り返すことによって、その個人だけでなく、周囲の方にも広がって、各地域における防犯力の向上に繋げていきたいというのが一番の目的である。</p> <p>(3) 令和2年度、令和3年度ともに、計画値より実績が上回っている状況だが、何か要因はあるのか。 →当初は戸別訪問より街頭キャンペーンに力を注力していたため、2か月に1回程度、年6回を目標に設定したが、コロナ禍で集まること難しくなったため、戸別訪問に力を入れていくことになった。そのため、規模が小さいことから回数が増加する結果となった。</p> <p>(4) オウム真理教対策について、市内に施設は何か所あるのか。また、抗議活動については、市で実施したということか。 →市内には、2か所の施設がある。抗議活動については、「八潮市オウム真理教対策協議会」を設立しており、当該協議会を中心に実施している。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から令和4年度までは事務局で抗議文を渡している。</p> <p><b>【委員】</b></p> <p>(5) 修行の場として使われているというのは、市で確認したのか。 →公安が施設内を調査し、状況を報告していただいている。実際に市や協議会が確認しているわけではないが、報告書に添付してある写真を見る限りは、修行する場として認知しており、全国でも北海道の札幌市にある施設と八潮の大瀬施設が修行の場としては大きな会場となっている。</p> <p>(6) 成果指標の「防犯団体数（活動）」について、実績値で38団体とあるが、どのような団体があるのか具体的に説明をお願いしたい。 →防犯団体は、自主防犯団体と、防犯協会で構成される団体とがあり、防犯用品を貸与しているのが自主防犯団体である。自主防犯団体については、実際には防犯協会と人はほとんどかわらないが、基本は町会単位となっている。それ以外では、小学校の保護者の方々が構成員となっている団体や、見守りのパトロールという形で、団体を組んでいただいているところが数団体ある。</p> <p>(7) 補助費等はこういったことに活用されているのか。 →草加八潮地区防犯協会に対し、負担金を支払い、活動していただいている。自主防犯団体には、負担金を支払うことはないが、防犯活動の品（ベスト、誘導棒）等を貸与している。</p>		

(8) 成果指標に「犯罪認知件数」があるが、平成16年頃と比較するとかなり減ってきていると思うが、20年近くかけて徐々に減ってきたのか。それとも、何かきっかけがあって一気に減ったのか。

→平成20年代前半頃までは増減を繰り返していたが、後半から減ってきている状況となっている。要因について明言はできないが、平成30年や令和元年に1,000件近くあった件数が、令和2年、令和3年はコロナによる影響が大きく、600件台とぐっと減っている。人の出入りが抑えられた分、犯罪も減っていると考えられる。令和4年になると、活動が少しずつ緩和されていることもあり、少し増えている状況となっている。

**【委員】**

(9) 埼玉県が公表している資料で、市区町村別の認知件数犯罪率というものがあるが、令和3年の確定値が出ており、八潮市は上位4番目となっていた。令和3年より過去も八潮市は犯罪率の高い市なのか。

→令和元年は4位、令和2年は9位、令和3年は4位となっており、平成20年から確認しても、ほとんどが1桁であり、2桁になったのは2年間だけという状況である。

・ そういった状況の中で、目標値の「1,100件以下」が、実績と乖離があるように感じる。市のホームページで過去の犯罪認知件数が公表されていたので確認したが、平成27年に1,000件を切り、その後ずっと1,000件以下となっているが、目標値が1,100件以下というのは適切なのか。

→第5次総合計画とあわせて目標値は1,100件以下としているが、目標値としてはもっと下げていきたい。

(10) 事業概要内に、「犯罪の起きにくいまちづくり（防犯環境設計）を推進する。」とあるが、具体的に取り組んでいることはあるか。

→夜間の道路が暗いという意見を多くいただいていたことから、今年度、試験的に葛西用水沿いにソーラーライトを設置した。本来であれば個人宅の玄関灯を点灯してもらうことが望ましいが、なかなか事業が進まないため、太陽の光で充電したライトを戸別につけていただくことで、街の暗さを補完するような事業を展開していきたいと考えている。

**【委員】**

(11) 成果指標の防犯団体数について、目標値として「46組」としているが、増やす取り組みはされているのか。

→新規で活動を始めてもらうような取り組みはしていない。現状では、高齢化を理由に活動をやめてしまう団体のほうが多いため、現実的には活動を休止しないようお願いしているところである。